

令和6年 8月23日 (金)

あさひの日だまり

NO.16

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～2学期が始まりました～

楽しい2学期になりますように

長い夏休みが終わり2学期がスタートしました。子どもたちは、学校を離れて各ご家庭、学童クラブ、親戚の家、祖父母の家、旅行先等いろいろなところでいつもとは少し違った生活を経験しました。そこでは学校生活では出会うことができない色々な出来事に出会えたに違いありません。違った経験は違った感覚を与えてくれます。そして違った感情を引き起こしてくれます。知らない自分との出会いを経験した人もいたはずです。一回り大きく成長した子どもたちとの生活が今からとても楽しみです。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては1学期同様引き続き本校の子どもたちへのご支援よろしくお願いたします。色々とお願することばかりで今から恐縮な思いがいたしますが、職員一同新たな気持ちで子どもたちのために教育活動を展開していく覚悟しておりますので、何卒お力添えのほど重ねてお願いたします。もし心配なことやご相談事がありましたら遠慮なく学校へご連絡くださいませ。窓口は担任、養護教諭、教頭、校長等連絡しやすいところで構いません。

23日は始業式がありました。子どもたちに下のようなお話をさせてもらいました。自由に自分を表現し学校生活を思いっきり楽しんで欲しいという願いでお話をしました。目を通していただけたら幸いです。

皆さんおはようございます。久しぶりに皆さんとこうして顔を合わせられることがとても嬉しいです。

始業式にあたり校長先生が3つお話をします。10分くらいの少し長いお話しをしますがお願いたします。

一つ目です。

日本は79年前まで、何回か他の国と戦争をしました。戦争の中で長崎と広島に原子爆弾が落とされました。夏休み中に長崎と広島で「平和祈念式典」がありました。式典の中で毎年小学生が「平和への誓い」を語る場面があります。今年の「誓い」の一部を紹介します。

それは「本当にこのままでよいのでしょうか」という言葉で始まる文章です。文はこう続きます。

「願うだけでは平和は訪れません。色鮮やかな日常を作り、平和を作っていくのは私たちです。一人ひとりが相手の話をよく聞くこと。「違い」を「良さ」と捉え、自分の考えを見直すこと。仲間と協力し、一つのことを成し遂げること。私たちにもできる平和への一歩です。」

この言葉は全世界の大人と子どもたちに向かって投げかけられています。

「自分と考え方や立場の違う人たちの思いを理解し受け入れ学ぼうとしなければ決して平和は訪れません」そう言っているのです。全世界の大人たちにこの思いがぜひ届いてほしいと心から願います。そして、私たちもこの文章の意味をしっかりとかみしめたいと思います。

二つ目です。

3年前の8月15日、今5年生になる巻瀧尚煌（まきぶちなおき）君が土砂崩れにまき込まれてなくなりました。校長先生は8月の15日に土砂崩れが起きた場所へ行き心を込めて手を合わせてきました。

校長先生は人の命というのは、神様からお借りしているものだと思っています。誰でもお借りした命を返す時がきます。その時は人によってみんな違います。巻瀧君は皆さんより少し早くその時を迎えました。お借りした命は短くても長くてもその価値はみんな同じです。そして亡くなった人の「命」は私たちの心の中で生き続けています。思い出の中にある巻瀧君と過ごした場面を少しの時間思い出してみてください。心の中の巻瀧君がにっこり微笑みを浮かべ喜んでくれると思います。

三つ目です。

三つめは校長先生の挑戦についてです。竹とんぼを239個作ってみなさんにプレゼントするぞ大作戦に挑戦しました。挑戦の様子を見て下さい。



夏休み初日から作りはじめました。図工室でみなさんの竹トンボを作っている様子です。まずはこの写真の形から竹とんぼの羽を作っていきます。だんだんと竹とんぼの羽の形ができていきます。どうしても失敗してしまうので予備を入れて250個くらいを目指しました。ここまで朝からずっと頑張っていたい一週間くらいかかりました。

次に羽を軽くしていきます。もとは10グラムくらいからのスタートです。削りに削って限界まで軽くします。目標は何グラムだと思いますか。2グラムまで軽くします。羽を軽くするために竹を薄く薄くしていくのですが、これが一番大変でした。薄くしすぎて割れてしまったりひびが入ったりしてしまうんです。



「ごめんなさい、間に合いませんでした。もう少し時間を下さい」とみんなにお願いしようと何度も何度も思いました。そのときです、「校長先生頑張ってください！」と皆さんが声をかけてくれているように感じました。そこから先、校長先生は皆さんの声に励まされながら頑張って作り続けました。



皆さん校長先生を励ましてくれて本当にありがとうございました。心からお礼を言います。

このテーブルに乗った羽はすべて2グラムに合格した羽たちです。ここまでで15日くらいかかったと思います。



写真は真ん中を温めてひねりを付けているところです。あとは軸をつければ完成です。こうして仕上げの段階まで来ました。もう休みも終わりの頃です。校長先生の挑戦も終わりに近づきました。



1年生と2年生の分が完成しました。そして.....

皆さんに竹とんぼを渡しますね。クラスへ帰ったら自分の分をもらってください。壊れてしまったりうまく飛ばないのがあったら校長先生のところへ来てくださいね。



これで校長先生のお話は終わります。

